



兵衛だより

HYOGO DENTAL HYGIENISTS' ASSOCIATION

2026年 年頭のご挨拶

丙午の勢いに乗り、 歯科衛生士の専門性をさらなる高みへ



公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
15代会長 岩崎 小百合

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より本会の活動に対し、多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2026年、本年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」という大きな節目を迎えました。丙午は、情熱の「火」と躍動する「馬」が重なり、強いエネルギーが満ちあふれる年と言われています。前回の丙午であった1966年を振り返りますと、当時の日本人の平均寿命は、男性が68.4歳、女性が73.6歳と、70歳前後でした。それから60年、再び丙午を迎えた今日、平均寿命は男性81.5歳、女性87.5歳となり、我が国は急速に人生100年時代・超高齢社会へと大きく変化してきたことを実感します。

こうした背景の中、令和7年6月13日に閣議決定された「骨太の方針2025」においても、歯科衛生士は国民の健康長寿を支える要の職種として明確に位置づけられました。本方針では、糖尿病、心疾患、認知症などの重症化予防と口腔健康管理との関連性が、改めて強調されています。国が推進する「国民皆歯科健診」の具体化や、全身疾患の重症化予防における口腔健康管理の重要性が明記されたことは、私たち歯科衛生士の専門性が認められ、その力が社会から切実に期待されている証であると強く感

じております。

しかしその一方で、現場が直面している「歯科衛生士の人材不足」は、今や一刻の猶予も許されない喫緊の課題となっております。急増するニーズに対し、現場の担い手が追いつかず、会員の皆様お一人おひとりの負担が増大している現状を、深く懸念しております。

本会といたしましては、本年も復職支援や人材確保・育成事業のさらなる充実を図ってまいります。あわせて、最新情報を迅速にお届けできるよう、SNSでの発信やWebサイトの活性化にも注力いたします。これらの取り組みを「兵庫県歯科衛生士センター」を最大限に活用しながら、着実に推し進めてまいります所存です。

現在、歯科衛生士の活躍の場は、歯科診療所から急性期病院、介護・福祉施設、訪問歯科診療、そして地域活動へと、縦横無尽に広がっています。それぞれの現場で磨かれた個々の専門性を「点」で終わらせるのではなく、地域という大きな輪の中で結び、歯科衛生士が連携を強化し、社会的役割を確固たるものとしていかなければなりません。

丙午の勢いに乗り、兵庫県民の皆様の歯科口腔保健の向上、そして歯科衛生士の専門性をさらなる高みへと引き上げる一年となりますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

表彰

受賞
おめでとうございます



厚生労働大臣賞
御代出 三津子 さん



兵庫県
公衆衛生協会会長表彰
山口 玲子 さん

理事会報告

令和7年度 第4回理事会
令和7年11月15日(土)13:30~16:00

- (1)協議事項
 - 外部理事について
 - 定款及び諸規則の変更について
 - 令和8年度委員会事業案について
 - 各委員会次年度事業案について
 - 新入会員承認について
 - その他
- (2)報告事項
 - 会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告、監査報告
 - 令和7年度兵庫県歯科衛生士センター事業について
 - 令和7年度訪問歯科衛生士の人材育成事業について
 - その他
- (3)その他
 - 役割分担、会員発送、その他

令和7年度 第5回理事会
令和8年1月17日(土)13:30~16:00

- (1)協議事項
 - 各委員会次年度事業(案)について
 - 令和8年度事業計画(案)について
 - 外部理事就任について
 - 新入会員承認について
 - その他
- (2)報告事項
 - 会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
 - 令和7年度兵庫県歯科衛生士センター事業について
 - 令和7年度訪問歯科衛生士の人材育成事業について
 - その他
- (3)その他
 - 役割分担、会員発送、その他

会務報告

- 9月 30日(火) ●兵庫県・播磨広域合同防災訓練第2回全体会議*
- 10月 4日(土) ●10月三役会*
10月常務理事会*
- 8日(水) ●令和7年度 第3回兵庫県プライマリ・ケア協議会幹事会
- 17日(金) ●神戸ハローワークとの意見交換について(厚生労働省からの依頼)
- 26日(日) ●兵庫県歯科衛生士会創立60周年記念式典・祝賀会
- 30日(木) ●令和7年度訪問歯科衛生士会人材育成事業検討会
- 11月 1日(土) ●全国病院歯科衛生士連絡協議会
- 5日(水) ●定期監査
- 8日(土) ●11月三役会
- 9日(日) ●近畿ブロック連絡協議会・ブロック研修会
- 14日(金) ●神戸市歯科医師会と兵庫県歯科衛生士会との打ち合わせ
- 17日(月) ●神戸市認知症支え合い連絡会
- 20日(木) ●厚生労働省 令和7年度歯科衛生士の人材確保実証事業 第1回検討委員会*
芦屋歯科保健事業連絡協議会
- 12月 4日(木) ●歯科衛生士復職支援検討会議
兵庫県医療団体協議会会議
- 6日(土) ●創立60周年記念事業報告会
- 7日(日) ●災害歯科保健歯科衛生士フォーラム
- 8日(月) ●兵庫県医療職団体協議会会議*
- 10日(水) ●令和7年度第1回連盟との打ち合わせ会*
- 11日(木) ●令和7年度介護予防・生活支援推進会議
- 14日(日) ●兵庫県プライマリ・ケア協議会 令和7年度研究集会
- 18日(木) ●誤嚥性肺炎事業にかかる体制整備に向けた検討事業
在宅歯科医療連携室機能強化事業協議会
- 令和8年
- 1月 8日(木) ●兵庫県医師会 新年祝賀会
- 1月10日(土) ●1月三役会
近畿歯科用品商協同組合新年会

* (Web会議)

【歯科衛生士養成機関との連携】

- 10月16日(木) 第19回姫路歯科衛生専門学校戴帽式
- 25日(土) 令和7年度神戸リハビリテーション衛生学校臨床実習開始式

お詫びと訂正

兵衛だより93号P6「第1回歯科衛生士復職支援講習会」において、氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】住谷香奈子氏(阪神南) ⇒ 【正】角谷香奈子氏(阪神南)

M5 編集後記
👉焦らず自分のペースを保ちたいと思うようになりました。ゆっくりでも前に動く気持ちを大切にしたいです。(YM)

👉この冬は寒暖差が大きく、体調を崩す方が多いようです。栄養・休息・睡眠を十分に取って体調管理しています。(MK)

👉歯科衛生士の仕事も多様になり、一人ひとりがさまざまなアンテナを伸ばし、得意を活かし活躍の年にしたいですね。(MN)

👉今年は「整」を目標に、姿勢を意識し、身の回りを整えながら、見えない仕事もコツコツ積み重ねて行きたいです。(UM)

公益社団法人
兵庫県歯科衛生士会

〒650-0004 神戸市中央区中山手通5丁目2番13号 四宮神社会館2F
TEL 078-341-6471 FAX 078-945-7871
E-mail: hdha@silver.ocn.ne.jp https://hyogo-dh.or.jp



兵庫県歯科衛生士センター (兵庫県歯科衛生士会事務所内)
https://hyogo-dh.or.jp/dhc

歯科衛生士センターへの登録:登録者数1,275名(兵庫県歯科衛生士会会員645名 令和7年12月現在)

歯科衛生士センターへの登録:会員の皆さまの中には、まだ未登録の方がおられます。当会会員は自動的にセンターへ登録されませんので、ご注意ください。登録いただくと、メールマガジンなどで最新情報をお届けします。(登録無料) お知り合いの歯科衛生士にもお声掛けをお願いします。

詳細・登録方法は歯科衛生士センターのウェブサイトをご覧ください。

Instagramでは、県内の地域活動やセンターの取り組みを発信しています。



ウェブサイト



Instagram



http://zinzai.hyogo-dh.com

日時 令和7年11月30日(日)10:00~16:00 場所 本会会議室・四宮神社会議室 参加人数 会員59名・学生17名 合計76名

会員発表

第12回歯科衛生士学術フォーラム、歯科衛生学術研究会では、会員3演題、学生会員4演題の調査報告が発表され、今後の業務に生かせる内容となりました。また、賛助会員(株)日本トリムのご協力により、ランチョンセミナーを開催しました。シンポジウムでは「口腔×栄養～患者の健康を守るDHに必要な知識～」をテーマに、管理栄養士の詫間氏による基調講演が行われました。また座談会形式によるシンポジウムでは「歯科衛生士が考える栄養と口腔の関わり」をテーマに意見交換が行われ、有意義な研修会となりました。

児童養護施設における
口腔衛生指導の活動報告

大手前短期大学 歯科衛生学科
○大島 百合香、神田 恵実、坂本 由紀子



大島 百合香氏

児童養護施設に入所する児童を対象に、歯科衛生学科の学生および教員による口腔衛生指導の実施、児童の健康意識を高めるための方法と取り組みについての活動報告。

神戸支部の歩み～未来へ

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会 神戸支部
○山口 玲子、二神 真由美、野村 純子、
明石 知子、菅原 紗代子、原田 さとみ、
松田 資子



山口 玲子氏

県下最大の会員数を擁する神戸支部が誕生して10年、支部研修会と特別普及啓発活動を2本の柱として活動し、令和6年度兵庫県健康文化功労賞(団体)を受賞。

時代のニーズに対応し、いつも明るく笑いの絶えない神戸支部であり続けることが今後の目標と報告された。

保健師と共に高齢者に寄り添った
オーラルフレイル事業の試み

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会 東播磨支部
○田原 真貴、三柴 直美、網干 正子、
酒井 めぐみ、小村 照代、岩崎 小百合



田原 真貴氏

高齢化率32.2%の超高齢社会の介護予防事業と高齢者の保健事業を一体化したオーラルフレイル事業を実施。多職種と連携し2年間の結果と考察、連携体制の構築を行い、高齢者の声に耳を傾けるポピュレーションアプローチについての活動報告。

シンポジウム 基調講演

「口腔と栄養」
～食べられる口を守る多職種連携～

神戸医療生活協同組合 神戸協同病院 管理栄養士
詫間 晴美氏



基調講演
詫間 晴美氏

シンポジウム 座談会形式

《口腔×栄養 ～患者の健康を守るDHに必要な知識～》
歯科衛生士の現場から学ぶ「口腔×栄養」の実践
～具体的事例に基づく支援の工夫～

(病院勤務) 吉良 そのみ氏 (歯科診療所勤務) 森 菜摘氏
(在宅・施設勤務) 山口 恵氏 (管理栄養士) 詫間 晴美氏



シンポジウム座談会のようす

学生会員発表

大学生ヘデンタルフロスの周知するための
リーフレット作成とその効果

1)大手前短期大学 歯科衛生学科2年生 2)大手前短期大学 歯科衛生学科
○石井 沙苗¹⁾、神田 恵実²⁾、○梶 ももこ¹⁾、○永易 万弥¹⁾
大島 百合香²⁾、岩部 真理子²⁾、小澤 純子²⁾



神戸市長田区における幼児の口唇閉鎖不全の実態調査

神戸常盤大学 保健科学部口腔保健学科
○飯田 かれん、○越智 優里奈、○楠本 七菜、○小松 加歩、中村 美紀



幼児期のプレパレーション経験と口腔保健行動との関連性

神戸常盤大学 保健科学部口腔保健学科
○赤松 双葉、○金正 愛琉、○多田 愛生、○藤原 衣都、江崎 ひろみ



歯科衛生学生におけるストレス反応と口腔健康の関連性の検討

神戸常盤大学 保健科学部口腔保健学科
○石橋 梨々華、○福本 結菜、○森下 心葉、○山本 美咲、破魔 幸枝



(敬称略)

卒後研修必修プログラム
スペシャリストコース (基礎研修委員会)

卒後研修必修プログラム スペシャリストコースは、就業7年以上または復職者を対象に、より専門的な講義とグループワークでの学びが行われました。

第1回は、職場におけるハラスメントの定義や種類の理解、しない・させないための取り組み、相談を受けた際の対応方法について学びました。また、地域や在宅診療における、暮らしのニーズに寄り添った食支援をテーマに、口腔機能の検査・評価・訓練に関する正しい知識を、症例を交えて学ぶ専門性の高い講義が行われました。

第2回は、歯科衛生士の現状とキャリアアップの在り方、指導歯科衛生士として必要な知識と対応について、講義とグループワークを通して学びました。自身の課題を整理し、解決に向けた活発な意見交換と情報共有が行われました。

本研修は、職場や地域のリーダーとしてキャリアアップを目指し、明日からの業務に生かせる有意義な研修会となりました。



ペリオセミナー (専門研修委員会)

日時 令和8年1月25日(日)14:00~16:00
開催方法 リモート形式 参加人数 44名

「行動科学に基づいた
セルフケア用具の選択と
フッ化物配合歯磨剤の使い方」

高柳歯科医院院長 東京歯科大学衛生学講座客員教授
スタディーグループ歯磨き学の会代表
高柳 篤史氏



講師
高柳 篤史氏

本研修会では、歯みがき行動をはじめとするセルフケア行動に関する研究で著名な高柳篤史先生より生活者中心の歯科保健指導を実践するために必要な「歯ブラシの特徴と選択方法」、ならびに「高齢の歯周病患者に多く見られる根面う蝕予防に向けたフッ化物配合歯磨剤の活用」について、

日時 第1回 令和7年12月14日(日)12:50~16:20
第2回 令和7年12月21日(日)12:50~16:30
場所 本会会議室 四宮神社会議室
受講者数 7名(修了者6名・全コース修了者3名)

りました。

なお、今回卒後研修必修プログラムを全コース修了された方は、在宅や施設における療養者の口腔健康管理を担うための専門的な実践力および指導力を有する「口腔健康管理地域支援リーダー」の登録条件を満たすこととなります。ぜひこの機会を、新たなステップにつなげていただきたいと思います。



ご講演をいただきました。

特に印象的だったのは、「ブラッシング力とブラッシング圧」に関するお話です。足を踏まれたとき、ハイヒールとスニーカーではどちらが強い圧になるかという例えは非常にわかりやすく、歯ブラシ全体で磨く場合と、つま先など一部分で磨く場合とでは、歯面に加わる圧が大きく変化することを再確認することができました。一部分で磨く場合には、より弱い力で行うよう指導する必要があるという点は、今後の臨床において重要な視点であると感じました。

また、患者が「う蝕傾向か」「歯周病傾向か」、さらに「日頃の歯みがき時間」などによって、適切な歯ブラシの選択方法が変わることを学びました。これまでの経験や思い込みだけで判断してしまいがちな場面もありましたが、患者一人ひとりの状況に応じて、より柔軟に対応する姿勢の重要性を改めて認識する機会となりました。今回の学びを活かし、今後は個別性の高い歯科衛生ケアを提供していきたいと考えています。



第1回歯科衛生士センター研修会

日時 令和7年11月16日(日)13:30~15:30
開催方法 リモート形式
参加人数 116名(会員101名・会員外15名)

「食べる力を育むー赤ちゃんからの歯科保健」

兵庫県立大学 副学長・看護学部教授
 坂下 玲子 氏



講師
 坂下 玲子 氏

本研修では、子どもの口腔の健康に関する重要な課題について学びました。講演では、歯と顎骨の不調和の増加、う蝕や歯肉炎の発生、若年層に見られる顎関節症、咀嚼機能の低下など、現代の子どもたちが抱える口腔の問題が紹介されました。これらの背景には食生活の変化や生活環境の影響があり、特に乳幼児期の食事形態が口腔機能の発達に大きく関与することが強調されました。さらに、口腔ヘルスプロモーションプログラムの重要性についても説明があり、母乳保育や手づかみ食への導入、線維性食品の摂取など、発達段階に応じた支援方法が具体的に示されました。とくに「敏感期」とされる3歳までの時期は、口腔機能の基盤が形成される重要な時期であり、

この時期を逃すと“食べる力”を育むことが難しくなるという点が印象的でした。

また、赤ちゃん主導の離乳食(Baby-Led Weaning: BLW)の進め方とその効果についても紹介され、赤ちゃんが自ら食べる経験を通して口腔機能の発達が促されることが示されました。このような初期介入の重要性は、歯科衛生士としての役割を改めて認識する内容でした。

本研修は、歯科衛生士が子どもの健康を支えるための知識と実践を深める、非常に有意義な機会となりました。

歯科衛生士センター活動報告

○9月25日(木)
 第1回兵庫県歯科衛生士センターエリア担当者会議

○12月25日(木)
 第2回兵庫県歯科衛生士センター運営協議会

(報告事項)

- ・令和7年度兵庫県歯科衛生士センター事業進捗状況
- ・第1回兵庫県歯科衛生士センター研修会報告
- ・登録システムバージョンアップ進捗状況

(協議事項)

- ・令和8年度事業案について
- ・学生登録促進について
- ・市町への周知活動の強化



令和7年度 訪問歯科衛生士の人材育成事業

日時 令和7年11月24日(月・祝)13:00~15:00
開催方法 リモート形式
参加人数 56名(うち同行訪問研修参加20名)

在宅歯科訪問における口腔健康管理にかかる基礎研修会を開催しました。

講演内容

介護保険の基礎のキソ	兵庫県介護支援専門員協会常任理事 久保 隆一 氏
訪問歯科診療のABC	兵庫県歯科医師会理事 砂治 國隆 氏
はじめての在宅訪問の心得	兵庫県歯科衛生士会 岩崎 小百合 氏
在宅療養者の口腔健康管理	兵庫県歯科衛生士会 栗原 知子 氏



令和7年度 訪問歯科衛生士の人材育成事業の継続実施に向けて、在宅訪問が未経験または初心者で実践的な知識・技術を身につけたい方を対象に、在宅歯科訪問基礎研修会がリモートで開催され、56名の方が受講されました。さらに受講後、各支部より(神戸4名、阪神南1名、阪神北3名、東播磨3名、北播磨1名、中播磨2名、西播磨3名、丹波1名)が同行訪問の実地研修に参加されました。

基礎研修会を受講し、実際に在宅歯科訪問に同行見学した方からの感想

以前に訪問歯科に携わった経験はありましたが、当時は在宅療養者の口腔健康管理に関するマニュアルが十分ではなく、手探りで対応していたように思います。今回の講義では内容が分かりやすく整理されており、これから訪問に携わる方にとっても、安心して現場に入ることができると感じました。また、講義内容と実際の現場との違いもほとんど感じられず、全体を通して有意義な研修でした。

※3月8日には、同行訪問を行った受講者および指導者による報告会が予定されています。

ひょうご安全の日のつどい

(普及啓発委員会)

日時 令和8年1月17日(土)10:30~15:00
場所 HAT神戸 なぎさ公園
参加人数 370名

ひょうご安全の日のつどいに出展しました。

阪神・淡路大震災から31年を迎える令和8年1月17日、災害文化を社会に定着させ、安全で安心な社会づくりを進めるため、「震災を風化させない『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』」をテーマに、「ひょうご安全の日のつどい」が開催されました。

当日は寒さが心配されましたが、暖かく好天に恵まれ、多くの方が来場されました。兵庫県歯科衛生士会では、「備える」をテーマに出展しました。土曜日ということもあり、小さなお子さん連れの来場者も午前中から多く見られました。

昨年に引き続きアンケートを実施しました。「非常持ち出し袋に口腔ケアグッズを入れていますか」という設問では、50%の方が「入れている」と回答しました(昨年は52%)。また、「災害関連死(誤嚥性肺炎)を知っていますか」では50%でした(昨年は59%)。昨年よ

り割合は下がりましたが、「以前このイベントで話を聞き、準備をした」との声もあり、今後も非常持ち出し袋に口腔ケアグッズを入れる重要性を啓発し続けたいと感じました。

当日は口腔ケアグッズを300セット準備し、中学生以上の方に配布しました。総来場者は370人で、午前10時30分から12時頃に200セット、午後1時からの配布ではわずか50分で100セットを配布しました。配布後は、パネル展示を活用し、ブースに立ち寄った方へ啓発活動を行いました。



普及啓発委員会、神戸支部の皆さん



兵庫県歯科衛生士会出展ブースの様子

定款・諸規則の改訂版送付および冊子配付の終了について(ご案内)

本会ではこれまで、組織運営の適正化および社会情勢の変化への対応を目的として、定款ならびに諸規則の一部改訂を行い、総会においてご説明してまいりました。このたび、最新の改訂版を送付いたしました。ご一読のうえ大切に保管くださいますようお願い申し上げます。

なお、紙資源の削減による経費の節減および環境負荷の低減、ならびに最新情報の迅速な共有を図るため、本年度をもちまして、冊子形態での全会員への配布を終了することといたしました。

次年度以降の改訂につきましては、本会ホームページ内の会員専用ページにて随時公開し、常に最新の規定を確認いただける体制へと移行いたします。時代の変化に伴うデジタル化への移行につきまして、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本会は今後も、会員の皆様が歯科衛生士として、より一層ご活躍いただけるよう、透明性の高い組織運営に努めてまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



みんなで WAI WAI コーナー

兵庫の味探訪

ご存じですか? 但馬・岩津ねぎ

日本屈指の伝統野菜である但馬・岩津ねぎは、日本三大ねぎの一つとされています。白ねぎと青ねぎの特性を併せ持ち、ビタミンCやβカロテン、殺菌作用のあるアリシン、整腸作用のある食物繊維を含むなど、栄養価の高い

食材です。江戸時代には、生野銀山で働く人々の冬の栄養源として重宝されてきました。寒さの厳しい但馬の地で育まれ、体を温め、全身の健康を支える食材として、ぜひ味わってみませんか。

